

富士の今と昔 ⑧

大正6年創立の東京艶糸株式会社（社長渡辺定二氏）は、法人の古さでは富士で一、二。昭和の初めから戦争中までは「東京人絹」、現在は日産自動車になっています。



現在の依田原町

東京艶糸株式会社工場全景（富士明治会提供）



橋田 権治さん



パンを食べるカケス

初秋の森で目立つ鳥といえば、カケス（カラス科）であろう。ハトより小型の美しい鳥で頭の上は白に黒の縦はん、背と下面はぶどう色、飛しょうするとき黒い尾と白い腰、白黒まだらの翼が目立つ。鳴き声はジェーイ、ジェーイと低音だが、ときに他の鳥の声をまねる。木の実、虫、トカゲやカエル等を食べるが、繁殖期には他の小鳥の卵やひなを奪って食べる。丸火の森にサンコウチョウが巣づくりしなくなったのも彼等のせいであろう。夏は富士山の森林限界あたりまで移動するものもある。毎冬訪れた、北八ヶ岳の黒百合山荘で残飯等でえづけをしたところ、タヌキ、テン、オコジョ等とともにカケスがたくさん集まったとのこと。仲間を集めることがうまいらしく、残飯等をえさ台に置くとたちまち20羽くらい集まり、他の鳥を追い払って独占する。時にリスと争う。しかし、しっぽを大きく広げておどすリスにはかなわず、立ち去るまで近くの梢で待っている。頭のよい鳥で「遠野物語」に出てくる不気味な話は真実だと思う。

ぼくの作品 わたしの作品



たなばた七夕で作った「ささかざり」の絵を書いてくれた、たかおか幼稚園のお友だちの作品を紹介します。



ささかざり



ささかざり



おおきくなったら、プラモデルのおみせやさんになりたいな。



たいこがじょうずになるように、ささかざりにかきました。